

## 議案第9号 付属資料

令和7年度

高野町一般会計補正予算（補正第9号）の概要

高野町

### 3月補正予算（一般会計補正第9号）のポイント

今回の補正予算は、本年度の最終補正となる見込みであることから、国県補助事業の精算や既決事業の確定見込みに伴う計数整理を主眼として編成いたしました。

主な内容としましては、国の補正予算に伴う普通交付税の再算定により、81,509千円が追加交付されました。この財源を有効に活用し、後年度の臨時財政対策債の元利償還に備え、減債基金へ5,775千円を積み立てたほか、定期預金の金利上昇や債券運用益の増収分を適切に反映させております。

これら歳入の確定および事務事業の実績精査により確保した財源97,500千円については、将来の政策的事業や不測の財政需要に備えるため、財政調整基金へ積み立てることといたしました。

歳出においては、現年発生公共土木災害復旧事業において、用地協力が得られず廃工とした箇所について、町道の安全を確保するため町単独事業による護岸修繕費を計上したほか、各事務事業において執行実績に基づいた精緻な不用額の整理を行っております。

また、国の予算措置の時期や事業進捗の状況等により、年度内の執行完了が困難と見込まれる11事業153,553千円について、繰越明許費を設定いたしました。

以上の調整の結果、今回の補正予算総額は52,000千円の追加となり、補正後の予算総額は4,595,200千円（前年度同期比△25.0%）となりました。

### ★歳入の状況

歳入におきましては、国の経済対策に伴う普通交付税の再算定により81,509千円の追加交付があったほか、試算に基づき森林環境譲与税を4,566千円増額計上しております。

また、町税の歳入調定額の確定に合わせた計数整理を行うとともに、国県補助事業および各特定目的基金を活用する事業において、実績報告や既決事業の確定見込みに基づき所要の精算調整を行いました。あわせて、金利上昇等に伴う運用益の増収分についても適切に反映しました。

### ■地方譲与税

当初予算から、国の税制度改正に伴う譲与基準の見直し及び譲与総額の増額により、前年度と比較して歳入が増加する試算となったことから、森林環境譲与税4,566千円を追加しました。

### ■利子割交付金

日本銀行による金融政策の修正に伴う市場金利の上昇により、預金金利利息が増加することを見込み、利子割交付金500千円を追加しました。

### ■地方交付税

令和7年12月の国の補正予算に伴う「再算定」により、物価高等への対応や人事院勧告による給与改定に伴う基準財政需要額が増加及び臨時財政対策債の発行抑制による振替分の解消などにより81,509千円を追加しました。

### ■交通安全対策特別交付金

本町における交通事故発生件数等の算定指標の変動により、総務省の定める最低交付限度額（250千円）を下回る見込みとなったため、500千円を減額しました。

### ■分担金及び負担金

高野山学受講負担金の確定に伴い、実際の受講実績に基づき45千円を計上しました。

### ■使用料及び手数料

年度内の収集実績に伴う確定見込みを精査した結果、不用が見込まれる1,600千円を減額しました。

#### ■国県支出金

国県支出金は、当初予算から各事業の実績確定に伴う精算または既決事業の確定見込みを踏まえ24,379千円を減額しました。

#### ■財産収入

定期預金の金利上昇や証券運用の増収及び不動産売却収入を精算したことにより全体で3,702千円を追加しました。

#### ■繰入金

当初予算および既決の補正予算において計上した特定目的基金につきまして、各対象事業の執行実績および今後の見込みを精査した結果、繰入額の合計から12,290千円を減額しました。

#### ■諸収入

当初の見込みに対し、消防団員の退職に伴う消防団員退職報償金等支給事務費補助金1,068千円の受け入れや、橋本周辺広域市町村圏組合からの塵芥処理手数料等返還金3,014千円の確定のほか、各種雑入の増減精査等により、全体で4,400千円を計上しました。

#### ■町債

町債について、入札差金および第2次協議の結果を反映し、総額で4,600千円を減額しました。主な内容は、Jアラート受信機更新事業において、一部対象外となった『緊急防災・減災事業債』を減額し、『防災対策事業債』へ振り替えるとともに、協議結果に基づき『過疎対策事業債』を増額するなど、適正な財源調整を行いました。

## ★歳出の状況

歳出におきましては、各種事務事業の確定に伴う不用額の精査を基本としつつ、国の補正予算に呼応して翌年度から事業を円滑に実施するための経費を盛り込み、所要の調整を行っております。

主な内容といたしましては、現年発生公共土木災害復旧事業において、用地協力が得られず廃工とした箇所について、町道の安全を確保するため町単独事業による護岸修繕費を計上したほか、人件費や旅費、各事務事業の執行実績に基づいた精緻な不用額の整理を行いました。

あわせて、将来の政策的事業や後年度の債務償還に備えるため、財政調整基金および減債基金へ計103,275千円を積み立て、財政基盤の強化を図っております。

なお、国の予算措置の関係や事業進捗の状況等により、年度内執行が困難と予測される11事業153,553千円については、翌年度に事業を継続するための繰越明許費を設定いたしました。

## ■総務費

### <一般管理費>

(会計年度任用職員人事管理事業)

本年度予算執行において、会計年度任用職員の任用実績及び勤務実績が確定したことに伴い、既決予算額と執行見込額との差額を整理するため、所要額3,410千円を減額しました。

### <財政管理費>

(財政運営費)

本年度発注の当初予算書について、見積聴取の結果、当初の想定を下回る価格で発注業者が決定したことによる執行残を整理するため、印刷製本費207千円を減額しました。

#### <基金管理費>

##### (基金管理事業)

今回の補正予算編成では、歳入の増分を将来の政策的事業や不測の財政需要に充てるため、財政調整基金へ97,500千円を積み立てることといたしました。これにより、令和7年度末の基金残高は1,375,941千円となる見込みです。

また、普通交付税の再算定に基づき、臨時財政対策債の償還分として減債基金へ5,775千円を計上したほか、各基金の利息確定等に伴う所要の調整した結果、総額113,041千円を計上しました。

#### <財産管理費>

##### (公共施設除却事業)

旧高野山中学校解体工事実施設計業務の入札に伴う落札差金1,001千円を減額しました。

これに合わせ、充当財源である公共施設等適正管理推進事業債1,000千円についても減額補正を行います。

#### <企画費>

##### (企画費人件費)

企画公室職員の人件費について、12月末付の職員退職に伴い、不用となる給与および職員手当等を精査のうえ、3,600千円を減額しました。

##### (行政秘書事業)

町長、副町長、企画公室職員の旅費について、会議のオンライン開催や日程の効率化等により、当初予算を上回ることなく執行できたため、精査のうえ不用が見込まれる旅費500千円を減額しました。

##### (物価高騰生活応援券配布事業)

事業実施にあたり、業者選定の見直しを行った結果、当初見込みよりも安価な印刷業者にて同品質の印刷が可能となったことに加え、発送時に郵便局の各種割引制度(区分郵便等)を効果的に活用したことにより、当初予算を下回る執行となったため、事務費857千円を減額しました。

#### <地域振興費>

##### (地域おこし協力隊募集・インターン活動事業)

地域おこし協力隊インターン事業の要件である2週間以上の活動期間に満たなかったため、不用が見込まれる委託料1,320千円を減額しました。

#### <支所費>

##### (へき地患者輸送事業)

富貴診療所に勤務する医師の体調不良により、夜間の救急外来を一時中止せざるを得ない状況となっており、これに伴い、当初想定していた輸送業務の稼働日数が大幅に減少したことから、事業費の不用額を精査し、実績見込みに基づき委託料240千円を減額しました。

##### (富貴支所運営事業)

N T T西日本による企業向けVPNサービス「フレッツ・VPNワイド」の提供料金改定に伴い、不足が見込まれる電信料20千円を計上しました。

##### (公用車管理事業)

富貴支所で使用している公用車について、前回交換以降、走行距離が規定に達しブレーキパッドの摩耗が進行しているため、安全な運行を確保するため緊急的に部品交換に係る修繕料43千円を計上しました。

#### <電算管理費>

##### (電算システム管理運営事業)

行政システム標準化・共通化対応の完了が当初予定から1ヶ月順延したことにより、運用実態に基づいた支払額との差額を減額するためシステム使用料712千円を減額しました。

#### <定額減税調整給付金事業費>

##### (定額減税不足額給付金事業)

物価高騰対応の一時的措置である定額減税の確定給付額について、実績値に基づく精算を行った結果、当初見込みを下回ったため、関連する事業費3,784千円を減額しました。

#### <賦課調整費>

##### (賦課徴収事業)

事業の進捗状況に応じた予算調整を行いました。

#### <戸籍住民基本台帳費>

(住民基本台帳事業)

住民票および印鑑登録原票等への「振り仮名」欄の追加及び基幹システムと戸籍システム間のデータ連携機能の構築等を整備する必要があることから、システム改修業務委託料935千円を計上しました。

(戸籍事業)

改正戸籍法の施行に基づき進めている「戸籍への振り仮名記載事業」について、令和8年5月25日の届出期間終了を控えた年度末において、システム処理体制を強化するため、システム改修業務委託料1,848千円を計上しました。

#### <地籍調査費>

(会計年度任用職員人事管理事業)

本年度予算執行において、会計年度任用職員の任用実績及び勤務実績が確定したことに伴い、既決予算額と執行見込額との差額を整理するため、所要額200千円を減額しました。

(地籍調査事業)

地籍調査閲覧業務委託業務の入札に伴う落札差金250千円を減額しました。

### ■民生費

#### <社会福祉費>

(寄附金活用生活支援事業)

本事業は、匿名寄附者様からのご厚意による寄附金を財源として実施してまいりましたが、山内寺院様から頂いた現物寄附の米を活用することとしたことから、313千円を減額しました。

(国民健康保険事業繰出金)

国民健康保険特別会計への繰出金について、出産育児一時金の支給実績が当初見込みを下回ったこと及び保険基盤安定負担金の額が確定したことに伴い、所要額を精算し、計2,082千円を減額しました。

(こども食堂(地域食堂)運営支援)

こども食堂(地域食堂)の新規開設及び運営に係る補助金を計上していたが、今年度の事業実施団体からの申請がなかったことから、執行見込み額を精査した結果、補助金480千円を減額しました。

#### <障害者福祉費>

(障害者児自立支援(障害福祉サービス)給付事業)

障害福祉サービス利用者の増加や、障害の重度化等に伴うサービス利用頻度の高まりにより、自立支援給付費に不足が生じる見込みとなったため、所要の額1,200千円を増額計上しました。

なお、これに係る国・県負担金については、翌年度の精算において措置される予定です。

#### <高齢者福祉費>

(外出支援助成券交付事業)

高齢者等の社会参加を促進する目的で実施しておりますが、直近の利用傾向を反映し、残りの期間に必要な経費を再精算した結果、執行残が見込まれるため所要額1,169千円を減額計上しました。

(敬老祝い金事業)

本年度の支給対象者数が確定したことに伴い、不用が見込まれる報償費379千円を減額しました。

(高齢者生きがづくり支援事業)

本年度の交付団体数が確定したことに伴い、不用が見込まれる補助金95千円を減額しました。

(介護保険会計繰出金)

介護保険事業決算見込みに伴う、当初見込んでいた介護給付費決算見込み額が当初見込み額を下回ったため、法定負担分を精算し、5,212千円を減額しました。

(高齢者生活支援事業)

利用者数の減少により、不用見込み額290千円を減額しました。

#### <児童福祉総務費>

(こども医療費助成事業)

過去の受診実績や直近の執行状況を勘案し、年度末までの支給見込額を再算定した結果、不用見込み額600千円を減額しました。

(乳幼児医療費助成事業)

過去の受診実績や直近の執行状況を勘案し、年度末までの支給見込額を再算定した結果、不用見込み額200千円を減額しました。

#### <母子福祉費>

(ひとり親支援事業)

ひとり親家庭を対象とした親子遠足において、募集の結果、参加申し込みがなかったため、事業の中止に伴う不用見込み額97千円を減額しました。

(ひとり親家庭医療費支給事業)

過去の受診実績や直近の執行状況を勘案し、年度末までの支給見込額を再算定した結果、不用見込み額300千円を減額しました。

#### <児童措置費>

児童手当支給対象児童数が当初の見込みを下回ることから、実績見込みに基づき不用が見込まれる児童手当2,900千円を減額しました。

#### <こども園費>

(高野山こども園評価委員会運営事業)

指定管理者との協議により、令和7年度から高野山こども園の自己評価を指定管理者が自ら実施することとなったため、評価委員会の運営に係る報償費および旅費、合わせて305千円を減額しました。

### ■衛生費

#### <保健衛生総務費>

(保健衛生総務費人件費)

住民健康課の人件費につきまして、1月からの看護有資格職員の新規採用に伴う増額の一方、保健師1名の退職に伴う減額が生じたため、これらを精査のうえ、2,600千円を減額しました。

(保健衛生総務事業)

保健師の退職に伴い、今後の業務執行を精査した結果、不用が見込まれる旅費147千円を減額しました。

#### <予防費>

(健康づくり事業)

行政システム標準化・共通化事業について、現在の進捗状況に基づき執行見込を精査した結果、不用が見込まれるシステム保守委託料300千円及び健康家族システム使用料1,200千円、あわせて1,500千円を減額しました。

(がん検診事業)

がん検診受診者数が当初見込みを下回る見通しとなったため、検診委託料(胃・子宮・乳)500千円を減額しました。

(予防接種事業)

予防接種者数が当初見込みを下回る見通しとなったため、予防接種委託料及び給付金3,900千円を減額しました。

<母子保健費>

(子育て世代包括支援センター事業)

令和6年度に実施した母子保健事業の国庫補助金について、実績報告に基づく額の確定に伴い、概算交付を受けた額との差額を国庫へ返還するため162千円を計上しました。

(出産・すくすく子育て応援事業)

出産・すくすく子育て応援事業について、対象者数が当初見込みを下回ったことに伴い、執行実績に基づき不用が見込まれる250千円を減額しました。

(母子健全育成事業)

令和6年度に実施した母子健全育成事業の国庫補助金について、実績報告に基づく額の確定に伴い、概算交付を受けた額との差額を国庫へ返還するため10千円を計上しました。

<清掃総務費>

(指定ごみ袋無料配布事業)

事業完了に伴い配布対象人数が確定したことにより、不用が見込まれる96千円を減額しました。

(環境パトロール事業)

本年度の会計年度職員人件費の確定見込みにより不用が見込まれる280千円を減額しました。

(ごみ処理施設維持管理事業)

ごみ袋の販売実績に合わせ、発注枚数を調整したことに伴い、ごみ袋印刷製本費の不用額500千円を減額しました。

(最終処分場管理事業)

最終処分場の法定水質検査委託業務の契約差金165千円を減額しました。

## ■農林業費

### <農業委員会費>

(農業者年金事業)

農業委員会会長の体調不良に伴い出張が中止となったため、不用が見込まれる旅費を精査のうえ、92千円を減額しました。

### <農業振興費>

(地域おこし協力隊事業(大和当帰技術継承))

地域おこし協力隊事業について、予定していた新規隊員の採用に至らなかったことに伴い、委託料の執行見込を精査し、2,394千円を減額しました。

### <鳥獣対策費>

(有害鳥獣被害防止対策事業)

防護柵を設置したいという農業者からの申請が当初の想定よりも少なかったため、不用が見込まれる320千円を減額しました。

### <林業振興費>

(森林経営管理事業)

森林経営管理制度に基づき実施した意向調査及び森林整備事業等について、各事業の実績見込みに基づき、不用が見込まれる1,771千円を減額しました。

(木育推進事業)

地元木材活用業務において、対象者数が当初見込みより下回ったため、不用が見込まれる711千円を減額しました。

(林業担い手育成支援事業)

林業担い手育成支援事業について、補助対象者が当初見込みを下回ったため、執行実績に基づき不用が見込まれる1,874千円を減額しました。

## ■商工費

### <観光費>

#### (面的DX化推進事業)

高野町観光DX化推進協議会について、協議会が独自の財源等により事業を継続することとなったため、町からの支出が不要となった予算全額の1,000千円を減額しました。

## ■土木費

### <土木総務費>

#### (土木総務費人件費)

年度当初の見込みに対し、職員の退職による支給額の減少と、欠員補充のための年度途中採用による給与相当額の差引清算を行った結果、不用額が生じる見込みとなったため、2,193千円を減額しました。

#### (土木関連行政推進事業)

和歌山県道路協会負担金につきまして、町内における土木関連事業の事業費確定に伴い負担金が確定したため、不用が見込まれる217千円を減額しました。

### <道路橋梁維持費>

#### (作業用車両等整備管理事業)

作業員数の減少に伴う作業体制の見直しにより、当初予定していた作業用消耗品及び燃料費等の必要数量を精査した、執行見込み額に基づき1,390千円を減額しました。

#### (町道等維持管理事業)

放置車両の撤去事案が発生しなかったことによる不用額の整理及び草刈委託業務の入札に伴う落札差金が生じたことなど合わせて537千円を減額しました。

(町道等維持修繕事業)

町道大門高野山駅線伐採工事執行に伴う落札差金169千円及び、現物支給用原材料費の確定に伴う執行残額100千円など不用額を減額しました。

また、町道五大連絡線において、既存の石畳舗装に著しい損傷が確認され、通行の安全に支障をきたしていることから、耐久性の高いコンクリート舗装への修繕工事を実施するための工事費5,000千円を計上した

(町道除雪融雪管理事業)

今冬の降雪および路面凍結に伴う経費の不足に対し、段階的な予算措置を講ずるものです。

2月上旬の凍結リスク等、緊急を要する融雪剤確保分4,000千円については予備費を充用することで、交通障害の未然防止を図りました。

本補正予算においては、精査した不足分である除雪融雪委託料17,000千円および融雪剤購入費1,500千円を計上し、冬期の安全な道路交通環境を確保するものです

<道路橋梁新設改良費>

(路面修繕事業)

町道愛宕谷2号線他路面修繕工事の入札に伴う落札差金486千円を減額しました。

<河川費>

(河川維持修繕事業)

令和5年発生 of 河川災害復旧事業について、被災箇所の復旧に向け地権者との交渉を重ねていたが、用地協力が得られず、国庫負担事業の採択要件に基づく年度内の事業完了が困難となったため、県と協議の結果、工区の一部を廃工としました。しかしながら、当該箇所の護岸は、護岸剥離が著しく、放置すれば背後地の町道細川花坂線2号橋の橋台への被害拡大や再度の災害を招く恐れがあることから、護岸修繕を実施し、早期の安全確保を図るための工事費1,137千円を計上しました。

なお、本事業は翌年度へ繰越を行います。

<都市計画総務費>

(住宅等耐震対策促進事業)

住宅等耐震対策促進事業につきまして、当初の計画に対し、現時点での申請件数が下回る見込みであることから、執行実績に基づき不用が見込まれる3,726千円を減額しました。

<公園費>

(都市公園管理運営事業)

弁天公園施設改修工事執行に伴う落札差金110千円を減額しました。

<都市環境整備事業費>

(美しい町並み環境整備事業)

当初の計画に対し、現時点での申請件数が下回る見込みであることから、執行実績に基づき不用見込み額1,900千円を減額しました。

<住宅建設費>

(公営住宅長寿命化修繕事業)

桜団地の長寿命化工事において、現地の状況に応じた設計変更及び精査の結果、工事費等100千円を減額しました。

■消防費

<常備消防費>

(常備消防費人件費)

消防職員1名の退職に伴い、年度末までの給料および諸手当に不用額が生じる見込みとなったため、3,500千円を減額しました。

(消防本部運営事業)

職員の感染症予防接種について、当初の見込みより抗体保有者が多かったこと等から、執行実績に基づき不用が見込まれる118千円を減額しました。

(消防通信機器更新事業)

和歌山県内全域で進めている「消防救急デジタル無線再整備事業」において、機器の配備構成の見直し及び負担区分の確定に伴い、不足が見込まれる負担金1,636千円を計上しました。

(消防職員教育事業)

救急救命士の退職に伴い、予定していた専門研修等の受講が不要となったため、これに係る旅費および負担金など、関連経費254千円を減額しました。

(火災・救急・救助活動事業)

救急車積載の心電図モニターおよび半自動式除細動器の更新が完了したことに伴い、執行残として不用が見込まれる380千円を減額しました。

(住宅用火災警報器配布事業)

住宅用火災警報器購入執行に伴う落札差金808千円を減額しました。

<非常消防費>

(消防団運営事業)

消防団員の退職に伴う退団報奨金について、年度末及び年度途中の退職者数が当初の見込みを上回ったことから、退団報奨金等1,074千円を計上したほか、視察研修等の事業実績に基づく不用額を合わせて実施した結果、総額で40千円を減額しました。

<消防施設費>

(消防施設整備維持管理事業)

消防庁舎浴室改修工事執行に伴う落札差金280千円を減額しました。

## ■教育費

<事務局費>

(会計年度任用職員人事管理事業)

本年度予算執行において、会計年度任用職員の任用実績及び勤務実績が確定したことに伴い、既決予算額と執行見込額との差額を整理するため、所要額4,350千円を減額しました。

(教育委員会事務局運営事業)

今年度、蜂の巣の発生件数が無かったため、撤去手数料93千円を減額しました。

<教育諸費>

(学校教育総務管理事業)

入学卒業記念品費については、少子化に伴う児童生徒数の減少により、実数に応じた執行を行うため30千円を減額しました。また、学校運営協議会研修費の講師謝礼金について、講師を外部専門家から協議会委員に変更したことにより、50千円を減額しました。

(学校教育推進事業)

管内教職員研究補助金の実績見込みに基づき100千円を減額するとともに、ALT集合研修会について、授業実施を優先し出席を見合わせたことから、不要となった17千円を減額しました。

(通学支援事業)

学校行事や授業日程の精査行い、年間の運行必要日数を再計算した結果、456千円を減額しました。

<奨学金費>

(定住奨学金事業)

返還付き奨学金の貸付希望者が皆無であったことから、年度内の事業実績に基づき、不用が見込まれる810千円を減額しました。

<学びの杜施設事業>

(学びの杜施設管理事業)

「学びの杜」施設における受変電設備(キュービクル)の法定保守点検について、施設利用者の利便性確保および安全な施設運営を図るため、全館停電を伴う点検を施設閉館後の時間外に実施することとし、点検委託料に係る時間外手数料49千円を計上しました。

<小学校管理費>

(富貴小学校施設管理事業)

富貴小学校において、児童の学習環境改善及び熱中症対策を目的としてエアコンを増設しました。これにより、当初の予想を上回る電気使用量が見込まれるとともに、昨今のエネルギー価格高騰の影響を受け、既定の光熱水費予算に不足が生じるため180千円を計上しました。

<教育振興費>

(小学校義務教育無償化事業)

経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対し、学用品費等の援助を行うもので、本年度の執行状況に基づき不用額170千円を減額しました。

<教育振興費>

(中学校義務教育無償化事業)

経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対し、学用品費等の援助を行うもので、本年度の執行状況に基づき不用額260千円を減額しました。

<社会教育総務費>

(20歳を祝う会事業)

本年度の事業実績見込みに基づき、執行残額を精査した結果、所要額76千円を減額しました。

<公民館費>

(公民館管理運営事業)

本年度の事業実績見込みに基づき、執行残額を精査した結果、所要額99千円を減額しました。

(公民館活動推進事業)

本年度実施を予定していた講師を招いた試食会について、講師との日程調整が困難となり、事業実施を令和8年度へ延期ことになったため、関連する事業費550千円を減額しました。

■災害復旧費

<現年発生公共土木施設災害復旧費>

(現年発生公共土木施設災害復旧事業)

令和7年8月及び10月の豪雨災害により被災した町道2箇所について、被災直後の簡易測量及び緊急調査に基づく計画から、実施設計における詳細調査・測量・地質調査等を実施し、被災状況に見合った適正な復旧工法へ変更したことにより工事費18,400千円を減額しました。

なお、本事業につきましては、翌年度へ繰り越して実施いたします。

■予備費

<予備費>

歳入歳出の全体調整を予備費にて行いました。

■令和7年度会計別予算推移

(単位：千円)

会計名称		当初	1号補正 (4月専決)	2号補正 (5月専決)	3号補正 (6月定例会)	4号補正 (8月専決)	5号補正 (9月定例会)	6号補正 (11月専決)	7号補正 (12月定例会)	8号補正 (1月臨時会)	9号補正 (3月定例会)	合計	
一般会計		4,195,000	19,100	9,000	30,900	△ 900	161,400	4,800	68,300	55,600	52,000	4,595,200	
特別会計	国民健康保険事業	439,700					13,900		32,000		△ 17,500	468,100	
	介護保険事業	567,800					39,900		8,300		△ 49,500	566,500	
	後期高齢者医療事業	138,300					5,500		9,200			153,000	
	高野山総合診療所事業	305,400			1,600		26,100		0		△ 7,000	326,100	
	富貴診療所事業	69,000					6,100				△ 5,500	69,600	
	富貴財産区	52,000					212					52,212	
	(小計)	1,572,200	0	0	1,600	0	91,712	0	49,500	0	△ 79,500	1,635,512	
一般・特別会計 合計		5,767,200	19,100	9,000	32,500	△ 900	253,112	4,800	117,800	55,600	△ 27,500	6,230,712	
企業会計	簡易水道事業	収益的	収入	147,991				0		0		0	147,991
			支出	147,991				0		0		0	147,991
		資本的	収入	59,082				△ 2,000		0		△ 2,574	54,508
			支出	82,554				0		0		△ 4,846	77,708
	富貴簡易水道事業	収益的	収入	28,241						0			28,241
			支出	28,241						0			28,241
		資本的	収入	14,500						0			14,500
			支出	22,780						0			22,780
	下水道事業	収益的	収入	341,208				0		0		0	341,208
			支出	341,208				0		0		0	341,208
		資本的	収入	97,100				△ 33,000		0		△ 5,190	58,910
			支出	181,583				△ 26,000		598		△ 5,170	151,011
	(小計)		804,357	0	0	0	0	△ 26,000	0	598	0	△ 10,016	768,939
高野町予算規模		6,571,557	19,100	9,000	32,500	△ 900	227,112	4,800	118,398	55,600	△ 37,516	6,999,651	

※企業会計の小計については、収益的支出及び資本的支出を合算した数値

※補正号数は、一般会計ベースでの記載

※予算総額に増減のない補正予算は「0」で表示